科目名	履修学年	単位数	教科書	副教材等
数学Ⅲ	3	5	数研出版　改訂版　数学Ⅲ	数研出版　4STEP　数学Ⅲ

到達目標
複素数平面と式と曲線、極限、微分法および積分法についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。

評価の観点	評価の内容
a　関心・意欲・態度	数学的な考え方に関心を持つとともに、それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
b　数学的な見方と考え方	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。
c　数学的な技能	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
d　知識・理解	数学における基本的な概念・原理・法則などを体系的に理解し、身に付けている。

評価の方法

単元テスト、小テスト、課題等の提出状況、学習活動への取組などの総合評価となります。

年間指導計画

前期							後期						
月	予定時数	学習内容	評価の観点				月	予定時数	学習内容	評価の観点			
			a	b	c	d				a	b	c	d
4	17	第３章　関数					10	20	第７章　積分法				
		分数関数、無理関数	○	○					不定積分			○	○
		逆関数と合成関数	○			○			定積分			○	○
5	18	第４章　極限					11	20	第８章　積分法の応用				
		数列の極限			○	○			面積、体積		○	○	
6	18	関数の極限			○	○			曲線の長さ		○	○	
									速度と道のり		○	○	
7	18	第５章　微分法											
		微分係数と導関数		○			12	18	第１章　複素数平面				
8	14	いろいろな関数の導関数			○	○			複素数平面			○	○
		第n次導関数			○	○			複素数と図形		○	○	
9	20	第６章　微分法の応用					1	12	第２章　式と曲線				
		導関数の応用		○	○				２次曲線			○	○
		速度と近似式		○	○				媒介変数表示と極座標			○	○
							計 175						

※原則として一つの単元ですべての観点について評価するが、特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

履修上および学習上の留意事項
・授業用ノートと課題用ノートを用意してください。
・授業はほぼ毎日あり、進度が非常に速いです。わからないことをそのままにしないよう取り組みましょう。